

九重の高原から

TAKE FREE

九重ふるさと自然学校通信

Vol. 39

2017. 秋号

# さとばる時間

九重のさとばる【里の草原】で育まれてきた自然や文化、そしてそこに流れるようなのんびりとした時の流れを感じてほしいという願いを込めて、「さとばる時間」と名付けました。



アカハライモリの赤ちゃん



いいきもち♪

ふじも×いきもの×地域

## ぼくらのあそびば たんぼ！>>>

**日曜・祝日 開園中☆**

### さとばるへ あそびにいこう♪

■入園料：無料

■開園時間：10:00～16:00

☆お貸しします！双眼鏡&図鑑

☆臨時休園の場合あり。HP または Facebook をご覧ください

☆アクセスは裏面をご参照ください



九重の自然やいろんな生きものと楽しくふれあおう！

こんな取り組みはじめてました。

# 田んぼあそび場プロジェクト



## 田んぼあそび場プロジェクトとは

子どもの遊び場と田んぼビオトープの両方の機能を兼ね備えた「あそび場」を休耕田など利用して1年を通じて創出するプロジェクトです。

## 背景

- ・「公園がない、外で子どもが安心して遊べる場所がない」という声
- ・休耕田など管理されない田んぼの増加
- ・田んぼにすむ生きものの減少



**たんぼあそびば**

- ：食べ物育む感謝の場
- ：僕らのご飯は命のつながり いただきます
- ：あいさつ元気に地域のおかげ
- ：そーっと見ると生き物たくさん友達だ！
- ：微生物、小さな命が地球の命
- ：バタバタと走って転んで楽しむぞ！

田んぼあそび場 おきて六条！



## ワークショップ 「田んぼで遊ぼう」レポート

「田んぼあそび場」を利用するために子どもたちによるルールづくりを行いました。会場はこのえ子育て交流センターさんに隣接する田んぼです。この田んぼでは子どもが入れるように、苗を植えない場所を特別につくって頂いています。子どももお米も生きものも、すくすく育つ田んぼです。



「田んぼで気を付けることは？」ファシリテーターの佐藤陽平さん



思い思いに田んぼで遊びます 捕まえたカエルを観察



田んぼで泥んこ体験、楽しかったね

「田んぼあそび場」に賛同し、休耕田や田んぼの一部を提供頂ける方、興味のある方は、九重ふるさと自然学校までお知らせください！



## 田んぼビオトープをつくろう！

当校の田んぼでは、従来の田んぼをさらに生きものが棲みやすい環境とすべく、田んぼビオトープを整備しています。右の写真はその一例です。ビオトープと田んぼは隣接していて、生きものは容易に行き来できます。また、地下に防水性のあるシートを埋め込んでおり、田んぼに水がない期間であっても水は枯れることがありません。この「水が枯れない」ということは重要で、田んぼに水がない冬期、ここは生きものたちの格好の避難場所となります。また、常に水中で生活する生きものも住みやすくなります。

ビオトープの整備以降、この田んぼで見られる生きものに変化が現れました。以前は見かけなかったイモリやツチガエルが息するようになったのです。イモリは水中にいることが多い生きものですが、ツチガエルは一部のオタマジャクシがカエルにならずオタマジャクシのまま越冬するカエルです。いずれも、ビオトープという安定した水場によって棲みやすくなったと思われます。今後もこのビオトープでどんな生きものに出会えるのか…楽しみは尽きません。



アカハライモリの幼生

# くじゅうびと Vol.11



九重に恋して☆

九重町社会教育課  
飯田公民館 主事

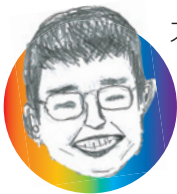
いとう ゆうた  
伊東 雄太さん

「ボンちゃん！」と、子どもの元気な声が響いた。ボンちゃんこと伊東さんは、2年前から飯田公民館の主事を務めている。公民館は地域社会の核となる場所。地域の活性化や社会教育の充実、様々な活動への支援・協力など業務は多岐に渡る。伊東さんは大分市出身の31歳。母親が九重町出身で、小さい頃から九重の自然に慣れ親しんできた。山登りにキャンプ、釣り、雪遊び、そして星空観賞…。大学生になっても遊び倒した。「一番思い出に残っているのは、小学生の時にアブラメ（コイ科の小魚。正式名称：タカハヤ）を漬け物樽いっぱい釣って、翌日逃がそうと思っていたら猫に食べられたこと。釣れ過ぎて、見かねた祖父が漬け物樽を持ってきたんです。でもこの事件でその川のアブラメは減ったような気がします（汗）。九重は僕の中の日本の原風景。大学院時代に九重で人のためになる仕事がしたいとこの道を選びました。」

伊東さんは小学生の時から郷土史を勉強するのが好きで、九重のキニナルことを探究し、公民館だよりを通じて発信している。「九重は住んでいるだけで楽しいところ。地域の面白さを住民の方に知ってほしいし、伝えたい」と語る。公民館に赴任して、子どもたちとの自然体験活動の機会が増えた。「自然は楽しいし、優しい。時には怖いものでもあるけど、外に出て自然を思いっきり楽しんで欲しい。」九重に恋するボンちゃん、今日も九重を駆け回る。（指原）



佐賀・鹿島干潟でのひとコマ。子どもたちによる愛の全身泥パック!? (ふるさと探検クラブ「有明海キャンプ」)



スタッフ朝倉の

## かずくん昆虫記

### 「小さな巨人～アリ～」

最近の「ヒアリ」報道で、アリを意識し始めた方も多いのではないのでしょうか。アリはとても身近な昆虫です。人家に侵入するなど、害虫となることもあれば、他の昆虫などを食べ、分解者となるアリは見方を変えれば益虫でもあります。アリはハチの仲間です。体のつくりを見ると、翅(はね)を取ったハチと同じような形をしています。アリの中でもオオハリアリやシリアゲアリなどは毒針を持っており、危害を加えるものには刺します。とは言え、ヒアリのような被害報告はほとんどありません。アリは現在日本で270種以上も確認されており、よく見かけるものは、トビイロケアリやクロオオアリなどです。一般的に体が小さいため、目を凝らさないと分かりにくいですが、市街地でも多数の種類を見つけることができます。また、コロニーの中心となる女王アリは、種類にもよりますが、数年から数十年も生き続け、昆虫の中でも長寿な生きものです。さらに、アリは他の生きものにとって必要不可欠な存在でもあります。植物やチョウ、甲虫の仲間などは、アリにすみかや食べ物を提供する代わりに守ってもらっているのです。他の生きものにとっては脅威のように思えますが、共存という深い繋がりがあるのです。



アブラムシのボディガード!? キイロシリアゲアリ



スタッフ兒島の

## どうぶつ み～つけた!

### 「畑にやってきたのは??」

ある日、畑にぼっこり掘られた跡…(泣)。一体誰の仕業? 穴を掘る動物はたくさんいます。目的はエサを探すため、巣穴を作るためなど、前脚や鼻を使って掘ります。



まず、モグラは地中生活に特化した生きものの代表。ショベルのような前脚で土をかき分け進みます。地上に土を掻き出したところをモグラ塚といい、地表浅く掘り進むとモコモコした跡ができます。

アナグマは、見た目はタヌキに似ていますが、クマとも無関係のイタチの仲間です。長いツメを持ち、入口がいくつもあるトンネル状の巣穴を掘ります。「同じ穴のムジナ」とことわざにあるように、アナグマの掘った穴はタヌキやキツネなどの動物にも利用されます。ムジナはアナグマともタヌキとも言われています。

イノシシは、敏感かつ強靱な鼻で地面にぼこぼこ穴を開けます。そう、畑を荒らした犯人はイノシシでした。イノシシは鼻で地面を掘りながら、ミミズや甲虫の幼虫、植物の根っこなどを食べます。ウンボでも使ったのではないかとはいくらか大規模に掘り進む鼻の力はすごいですね。でも畑には来ないでほしいです……。



# 自然・里山 体験プログラム参加者募集!

プログラムの詳細はホームページをご覧ください。定員になり次第、キャンセル待ちとなります。

## 田んぼの生きものしらべ 秋

10/9 (月・祝) 13:30 ~ 16:30

水がない田んぼとピオトープで生きものさがし! 秋はドジョウに注目!



定員 20名 大人 500円、子ども (小・中学生) 300円

## 冬のくじゅうバードウォッチング

12月9日 (土) 9:30 ~ 12:00

男池の森へ、冬のくじゅうを鮮やかに彩る冬鳥たちに会いに行こう!



定員 10名 大人 500円、子ども (小・中学生) 300円

※男池園地利用のため、別途清掃協力金 100円 / 名が必要になります。

## しめ縄つくりと正月飾りづくり

12月2日 (土) 13:30 ~ 16:00

自分で作るオリジナルの正月飾り! 自然の素材で干支の置物もつくるよ



定員 20名 大人 500円、子ども (小・中学生) 300円

## 秋のボランティア day キャンプ ~大人の稲刈り祭り~

9/24 (日) 10:00 ~ 17:00

鎌を使った稲刈りと掛け干しを行います。昼食は竹筒を飯盒にした炊飯に挑戦! 竹の風味が香るごはんは絶品です。



## 秋のボランティアワークキャンプ

11月18日 (土) 13:30

~ 19日 (日) 14:00 ※1泊2日

春の野焼きに向けた防火帯整備とドラム缶炭窯を使った炭焼き。夜は温泉と語らいのひとときを!



【各回】定員 14名 参加費無料 対象は社会人および学生

幼・小学生  
親子対象

## 自然で遊ぼう! おやとこ

火の巻

### たき火を囲む 焼きおやつ作り

11/11 (土) 13:30 ~ 17:00

薪で火おこして、焼きおやつを作ろう!

定員 20名 大人 800円、子ども (幼児・小学生) 300円



田んぼの巻

### 秋の稲刈りと<sup>あぜ</sup>畔豆を食べよう!

9/16 (土) 13:00 ~ 17:00

黄金色に熟した稲を一株ずつ収穫するよ! 田んぼの畦で育った大豆を食べてみよう



収穫祭 ※稲刈りまでの「おやとこ」にご参加の方が対象です

10/28 (土) 10:00 ~ 16:00

新米をたべよう! 皆でごはん作りに挑戦

【各回】定員 20名

大人 1,000円

子ども (幼児・小学生) 500円

※収穫祭は+500円



## さとぼるの森林づくり

雑木林にすむ生きものたちをしらべながら森の環境づくりを一緒に楽しもう!

(大分県森林環境税活用事業として実施します)

9/17 (日) 13:30 ~ 16:30

外来植物駆除活動、哺乳類しらべ

10/8 (日) 10:00 ~ 15:00

チョウ類・哺乳類しらべ

11/23 (木・祝) 13:30 ~ 16:30

植樹、哺乳類しらべ

【各回】定員 20名 参加費無料 ☆ご家族での参加大歓迎!



お問合せ  
お申込みは



一般財団法人  
セブン-イレブン記念財団

## くじゅう 九重ふるさと自然学校

〒879-4911 大分県玖珠郡九重町大字田野1624-34 (事務所)

TEL 0973-73-0001 FAX 0973-79-3434

✉ kujyu-sizengakkou@7midori.org

ホームページ  
http://www.7midori.org/kokonoe

Facebook でも情報更新中!



事務所  
MAP



さとぼる  
MAP



★九重自然教室  
「さとぼる」

(九重町大字田野 1726-143)

長者原ビジターセンター